

# 広報 おおだて

報

11月16日号  
(No.354)

■編集と発行 大館市役所

10月	
交通事故・件数	31件(236)
傷者	34人(285)
死者	2人(4)
火災・件数	2件(19)
救急・回数	91回(897)
( )内は今年1月からの累計	



## あなたの年賀状募集

あなたの楽しい年賀状を、市民の皆さんにお届けしませんか！

広報係では皆さんの手作りの楽しい年賀状を募集しています。イラストや漫画、あるいは将来の夢など何でも結構です。締め切りは12月10日、採用の方には記念品を差しあげます。

〈書き方〉官製ハガキの表面に氏名、年齢、住所、電話番号を、また裏面の使い方は縦・横自由ですが、字や絵は大きく太くお書きください。

〈送り先〉大館市字中城20

市役所総務課秘書広報係まで

写真は昭和三十八年十二月の別所部落にバスが開通したときのもので、花束を抱えているのが当時六歳の私です。市長さんのテープカットの後、バスの運転手さんに花束を渡すのが私の役目でした。その日は午前十時に式が始まるということもあり、朝早くからこの日のために母に買ってもらった着物を着てきれいに飾つてもらいました。私にとっては、バスが来た喜びよりも、きれいにしてもらつたことの方がずっと嬉しく、大はしゃぎでした。式が行われたのは旧道の別所入口でした。ここから部落までパレード。誰もがバスの到着を笑顔で迎えてくれたような気がします。祖父（写真、私の右隣り）や部落の人たちがバスを通すため幾度も町まで要望に出かけたということ、それだけに喜びもひとしおだったと思います。別所から十二所の本町までは徒步でおよそ三十分。通学には雨の日や冬の寒い日などは小学生にはちょっと辛い距離でしたが、バスのおかげでほんとうに助かりました。運賃は覚えていませんが、これで大館の町とも随分近くなつたんだなあと、子供心にも思いました……。



藤原京子さん  
(旧姓・黒田 26歳)

別所にバスが開通  
花束を贈った私

# 市立総合病院

一般病棟を50床増床、  
診療部門の拡張など

## 第三次増改築整備事業



市立総合病院は、昭和四十五年、施設の近代化と立体化を図るため、現在の本館が完成しました。その後、五十四年度には放射線棟の増築工事、五十五、五十六年度では神経精神棟の全面改築を行つて医療施設の充実を図つてきました。

第三次増改築整備事業は、五十八、五十九年度の二ヵ年継続で建物の老朽化著しい人工透析室・機能訓練室、伝染病棟や旧中央給食棟、旧コバルト治療室などを解体し、その跡地に増改築棟を建設するものです。

増改築棟は、総工費十二億四千八百二十万円で、鉄筋コンクリート造り四階建て（一部

一ヵ年継続事業で、射線棟の増築工事、五十五、五十六年度では神経精神棟の全面改築を行つて医療施設の充実を図つてきました。その後、五十四年度には放

射線棟の増築工事、五十五、五十六年度では神経精神棟の全面改築を行つて医療施設の充実を図つてきました。

第三次増改築整備事業は、五十八、五十九

年度の二ヵ年継続で建物の老朽化著しい人工透析室・機能訓練室、伝染病棟や旧中央給食棟、旧コバルト治療室などを解体し、その跡地に増改築棟を建設するものです。

増改築棟は、総工費十二億四千八百二十万円で、鉄筋コンクリート造り四階建て（一部

市立総合病院では、医療設備の充実と、年々増加する外来患者や入院する患者に対応するため施設の整備を進めていますが、五十八、五十九年度の二ヵ年で第三次増改築整備事業を行うことになりました。同事業は、建物が老朽化した人工透析室・伝染病棟や旧中央給食棟などを解体し、その跡地に増改築棟を建設するもので、一般病床の増床や人工透析室、一部の外来診療科などが移設され、来年九月には完成の予定です。

58・59年度

一ヵ年継続事業で

塔屋二階建て）、延べ面積六千二百二十二平方㍍です。

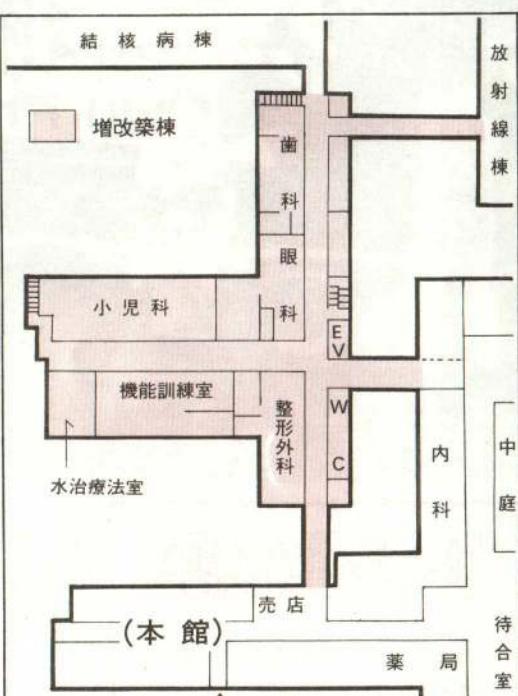
### 結核・伝染病床は縮小

増改築棟には、人工透析室や機能訓練室を初め、外来患者が増加している小児科、眼科などの診療科を移設するほか、一般病棟も五十床増床になり三百七十五床になります。なお、結核患者や急性伝染病患者は減少傾向にあるため、実情に合わせて結核・伝染病床を縮小します。また、この増改築により一部診療科が新しい建物に移るため、本館部分に従来より余裕がでてくることになります。

増改築棟は、一階が解剖室、

れます。  
工事業者は次のとおりです。

△機械設備工事  
伊藤・丸山建設共同企業体  
企業体 三億二千七百万円  
△電気設備工事  
東北電気・奥羽電気建設共同  
企業体 六億八千四百万円  
△昇降機設備工事  
日立製作所 三千四百万円



### 今月の相談日

ところ・市役所会議室  
じかん・午前9時～午後4時  
交通事故 11月22日、12月13日  
法 律 11月18日  
社会保険 11月21日  
家庭教育 11月21、28日、12月5日  
国 税 11月25日

明してくださったのです。  
この交換会は、市の多くの農業者にして意欲を与えてくれました。そして一般市民には農業や産業を正しく知つていたら機会を与えてくれました、協賛者からすれば、催しに対する多くの勉強をさせてくれました。

この尊い体験を生かし、来年の全国

高校総体受け入れに、そして成功へのハズミが出来たような気がしますし、今後の大規模な催しものを引受けられる見通しにも自信がもてたような気がいたします。

この成功的エネルギーを、不況克服の源にすべく、共に懸命に頑張りたいと存じます。

### 市長の対話ノート



No. 79

◆真中公民館・出張所は、12月5日から新館で執務します。

# 五十八年度市政功労者

## 自治、教育などで十二氏を表彰

★高松善治郎氏  
(曲田 75歳)



市では、大館市の発展に多年にわたり貢献された方々を讃えて、今月六日午後十二時三十分から市民文化会館において、五十八年度市政功労者の表彰式を行いました。

今年受賞された方々は、自治、教育、産業、統計など七部門、十二名で、畠山市長から表彰状と記念品の贈呈がありました。

受賞された方々は次のとおりです。

★中嶋三四郎氏  
(立花 72歳)



多年にわたり、選挙管理委員会委員としてまた市議会議員として市政の発展に尽力されました。

★安部榮吉氏  
(餅田 65歳)



大館曲げわっぱの国の伝統的芸品指定や技術の向上等今日の曲げわっぱ産業発展に尽力されました。

★浅井幸一郎氏  
(御成町 63歳)



## 「産業功労」

★佐藤佐吉氏  
(桜町南 67歳)



(小館町 72歳)

## 「統計功劳」



★故・佐々木茂見氏  
(雪沢 71歳)

## 「納税功劳」

### ▼ゴミ収集の問合せ

市役所清掃課 ☎ 42-2169

\*なお、今回対象地区の次回収集日は来年5月30日となります。また、今回収集しない地区では、来年2月29日に収集します。

多年にわたり、市議会議員として市政の発展に尽力されました。

多年にわたり、獅子舞の伝承普及、育成等、市の文化向上に尽力されました。

★畠山勝蔵氏  
(松峰 58歳)

多年にわたり、市議会議員として市政の発展に尽力されました。

★田中國司氏  
(根下戸町 56歳)

多年にわたり、市議会議員として市政の発展に尽力されました。

## 「教育功労」



(十二所 60歳)

## 「長崎萬之助氏 (樺崎 82歳)



## 「善行功劳」



★福士マツエ氏  
(白沢 71歳)

★浅井幸一郎氏  
(御成町 63歳)

多年にわたり、統計調査員として統計業務推進に尽力されました。

## 粗大ゴミを収集します

とき：11月30日(水)  
地区：戸・小館花、萩野台除く、下川沿(美園、片山町、片山三丁目、天神緑町、八坂町、片山アパート除く)各地区

「粗大ゴミ集荷票」を一世帯につき年二枚交付しています。この集荷票に住所、氏名を記入し、粗大ゴミの見える所に貼り、最寄りの集荷地までお出しください。

▼粗大ゴミの出し方

多年にわたり、民生児童委員として民生の安定等明るい地域社会建設に尽力されました。

多年にわたり、夜警火災予防、児童の交通指導など明るいまちづくりに尽力されました。

### ▼収集する粗大ゴミは

・ガスボンベ、火薬など爆発や破裂の恐れがあるもの。

・廃油や薬品などを含んだ公害の原因となる恐れがあるもの。

・動物の死体、コンクリート、古タイヤなど。



多年にわたり、納税貯蓄組合連合会役員として、納税思想の啓蒙普及等に尽力されました。

# 県種苗交換会 稔りで大にぎわい



できばえ、スピードを競った  
「きりたんぽ作り名人大会」

▼長木川原には色とりどりのノボリ  
が立ち並び、農業機械化ショーが  
行われました。



►シルバー人材センターによる秋田犬  
の木彫り実演が行われ、訪れた人  
たちの人気を集めていました。

秋田県農業界の一大行事である第一〇六回「秋田県種苗交換会」が、十一月一日から七日まで、中央公民館を第一主会場に市民体育館、城南小学校など市内各地で盛大に行われました。会期中は、三日の文化の日を除き好天に恵まれ、市内外から五十六万人もの参観者でにぎわいました。今回は、大館の特徴を強調するため、サブテーマ「きりたんぽの里に稔りとの出会い」を設け、市産業祭、きりたんぽ祭、ホップ展、アストロジヤンプ大会などの協賛行事が行われたほか、農産物展示場には、当市の特産物であるツクネイモや和梨、秋田杉などが出品され、訪れた人たちの高い関心を集めていました。また、談話会や懇談会、各種大会では、農業を取り巻く厳しい情勢の中、本県の農業についての真剣な討議が繰り広げられました。このほか、消費者の発言の場を設けたシンポジウムや学童農園展、案山子コンクールなども新しい企画として加えられ、非農業者をも含めた県民行事への発展を目指した交換会となりました。



▲密度の高い討論が展開された「談話会」



<b>第106回秋田県種苗交換会 写真コンクール作品募集</b>	
大館市及び種苗交換会協賛会事務局では、交換会の写真を次のとおり募集しています。	
題材・交換会の行事、人々の表情	
市内装飾などから大館の特色、特徴をとらえたもの。	
サイズ・カラー・プリント四ヶ切版で	
一人一点とする。	
方法・別紙に題名、感想、住所、	
氏名、年齢、職業、電話番号を記入。	
<b>締切</b>	11月26日(必着)
<b>賞</b>	特選1点 賞状、賞品
申込み及び問合せ	・入選2点 賞状、賞品 ・佳作5点 賞品
〒017 大館市字中城二〇 大館市役所 農林課	
□ 49-3111 内線294	
発表・本人への通知、市広報、秋田魁新報、北鹿新聞で発表	
展示・12月1日~7日まで市役所市民ホールに作品を展示	
※なお、応募作品の版権は大館市に帰属し、作品は返却いたしません。	



▲中国農学会農業科学普及視察訪日代表団一行15人が、農産物を丹念に見て回わりました。



▲市民体育馆で行われた農具展には、農作業の歴史や昔懐しい農具が展示されました。

# 第106回秋田 きりたんぽの里は



▲今年の豊作に感謝して神樂を奉納—新穀感謝農民祭

▶「森林と私たちの生活」と題して評論家富山和子さんの講演がありました。



▲たんぽのこね方、

## 3部門で農林水産大臣賞を受賞

種苗交換会の農産物関係で受賞した方々は次のとおりです。 (敬称略)

### 農林水産大臣賞

果樹部門 和 梨	中山果樹組合
野菜部門 つくねいも	虻川慶治(樺崎)
苗木部門 秋田杉	安部幸美(餅田)

### 秋田県知事賞

果樹部門 りんご	曲田リンゴ組合
〃 和 梨	中山果樹組合
野菜部門 きやべつ	長崎末治(立花)
〃 "	長崎金助(〃)
〃 ね ぎ	畠山栄夫(別所)
〃 つくねいも	虻川慶治(樺崎)
畜産部門 鶏 卵	山内源之丞(中羽立)
苗木部門 秋田杉	安部幸美(餅田)

### 全国農業協同組合中央会会長賞

畜産部門 鶏 卵	山内源之丞(中羽立)
ね ぎ	畠山栄夫(別所)

### 秋田県経済農業協同組合連合会会長賞

ね ぎ 畠山栄夫(別所)

### 第1回学校農園展

秋田県教育長奨励賞 南 小 学 校

〈第2回秋田県産米品評会〉

秋田県産米改良協会会長賞

アキヒカリ 小林富勇(二井田)



▲農林水産大臣賞を受賞した方々

中山果樹組合石垣組合長(左端)、虻川慶治さん(隣り)、安部幸美さん(右端)

▶ユニークな案山子約百体が展示され、岩本町内会が作った「きりたんぽの里」が一等賞に。



▶品質の高い農産物がすらり並べられました。

# “第14回 市民読書感想文”入賞者決まる

最優秀作には伊藤久美子さん(一般)と奈良美樹さん(学生)

市立図書館主催の「第14回市民読書感想文」には今年多くの応募がありましたが、厳重な審査の結果、次の方々が入賞されました。入賞された皆さんには今月7日、賞状並びに副賞がそれぞれ授与されました。入賞作品の中から、一般の部最優秀作「水なき雲」を読んで(伊藤久美子さん)を掲載します。

## 〈一般の部〉

最優秀作・「水なき雲」を読んで  
伊藤久美子（出川）

優秀作・「遺された妻」B C級戦犯横浜  
裁判 工藤恵子（駅迦内）

〃 母として妻としての旅路  
高松イク（十二所）

佳作・沓沢圭子、佐藤正、近藤敦子  
伊藤ユリ子、畠山節子（敬称略）



伊藤さん

## 〈学生の部〉

最優秀作・「こころ」を読んで  
奈良美樹(鳳鳴高2年)

優秀作・「ひめゆりの塔」を読んで  
成田康子(鳳鳴高1年)

〃 ·十五歳の絶唱  
桧山みゆき(鳳鳴高1年)

佳作・佐藤里香、太田見昭子、山田順子  
稻葉順一、富樫奈津子(敬称略)



森 良さん

「水なき雲」、最初これを手にした時は、青空に浮かぶ雲のよくな軽るやかさだけしか連想しなかつたのに、今は言い知れぬ重苦しさにどつかと押しつぶされてしまつてゐる。

わたしは今、この胸の重苦しさがいつたい何であるのか自問せずにいらはない。怒り？悲しみ？いやそう言つてしまつてはあまりにあつけない気がする。ただそこには、子供達の男達のそして女達の悲痛な叫びと問い合わせがあつた事だけは断言できる。

わたしが一番衝撃を受けたのはまお警官

なぜ、なぜ俊麿は死を選んだのか。  
なぜ母親は業のような愛を押しつけようとするのか。なぜ男達は家庭の外にやすらぎを求めるようとするのか。何が一番人間にとつて大切であるのか。さまざまな疑問があとからあとから湧き出てくる。

た狂気じみた母性、それを飲まされた者は全く悲惨である。やさしい母の期待に応えたい一念で勉強し、いつしかその事だけの為に生きるようになつた俊麿。「約束どおり合格は果たした。これで気がすんだろ」こう書き残して壮烈に死んでいった変態の貴りが毎年

なのかを教えられた純一が、壊れかけた家庭の幸せを取り戻そうと憤然と勇気をもって立ち向つて行く姿に、またその純一に傷つく事を恐れては尊い物を無くしてしまったけど悟った決然たる父親の姿に涙が出るほどに喝采して、いたゞから。

と母佐貴子の生き方である。息子を東大に入れる事だけをひたすら望み、よう一層勉強に身を入れるようにと家を一軒買い与え、そこで息子と忌ましい関係まで結んでしまった佐貴子。すべては愛する我が子の為と言つてしまえば聞こえはいいが、どうしてもそろは思えない。自分のエゴの為に俊麿の心身を縛りつけ、さらにその命まで取りあげてしまう結果を招いたのであるから。もし一人の関係を夫が知つたらどうであろう。地獄そのものではないだろうか。

たけどさ、その類稀な人格に誰か一体頭を下げるてる?」、また「やしさしさが本当に大切ならなぜ本気で人間はどう生きるべきかを考えないんだ。大人が大きな口を叩くんならまず、殺す事のない世界を築くことだよ」と。あの時俊麿はまさに素朴で最も困難な問題に突き当っていたのだろう。そして否定しながらも真のやさしさを切に求めていたに違いない。でもその痛烈なまでの彼の心の叫びを誰一人として聞いてはくれなかつたのである。彼のその無念さと短い一生を思うとたまらない気がする。何と人間とは人の心の奥底を知り得ないものだろうか。最も身近な

「水なき雲」。それは世間の風にあおられ、欲望の嵐に吹き流されてしまふ弱い人の心、もろい家族なのです。とすれば時代が変わり、住む人が変わらうとも、そこに人々の卑しい欲望がある限り「水なき雲」は絶えることがないであろう。

家族でさえ傷ついた彼の心を救うこと  
ができなかつたのだから。



